

# 平成21年度の主な取組

～6つのまちづくりの方向性に沿って、後期5か年の基本計画に掲げる計画事業やマニフェストの取組～

私は、さる2月8日の市長選挙において、西東京市基本構想に示すまちづくりの6つの方向と整合した、「安全・安心のまちづくり、都市基盤の整備」「みどりの維持・保全・創造とリサイクルの推進」「子育て、障害者・高齢者福祉、地域医療の充実」「教育・スポーツ・文化・芸術活動の充実」「市民活動支援、商工業、農業振興の充実」「情報公開・説明責任・市民参加の充実、行財政改革の推進」という6つのまちづくりの方向性と、38の取組からなるマニフェストを掲げました。

## 安全・安心のまちづくり、都市基盤の整備

「ひばりヶ丘駅周辺のまちづくりの推進」については、駅北口地域での西東京都市計画道路3・4・21号線の用地交渉・取得、都市計画道路沿道を中心とした地区計画案の策定、駅南口地域での市道210号線の拡幅といった地区の基盤整備を進めます。



開発の進む「保谷駅」周辺地域

保谷駅南口地区市街地再開発事業については、特定建築者による会社更生法の申し立てという事態となりましたが、駅前広場とペデストリアンデッキ整備など、早期完成に向けて的確に対応します。

都市計画道路については、西東京都市計画道路3・4・11号線や3・4・13号線の整備、保谷駅北口の南北道路である3・4・15号線の整備に継続して取り組みます。

I H Iの工場移転跡地については、市道2363号線の整備など周辺道路基盤の整備に努めます。さらに、踏切対策として、昨年度に着手した田無4号踏切の拡幅事業を完成させ、歩行者の安全な横断を確保します。

その他に、危機管理室を中心とする庁内危機管理体制について、個別対応マニュアルの策定や訓練を実施するとともに、市内パトロール体制の充実を図ります。また、要援護者対策として災害時要援護者登録者制度などの取組を進めるとともに、公共施設の耐震化率100%の達成に向けた耐震診断等や、東町三丁目など市内4か所での雨水対策工事を実施します。

## みどりの維持・保全・創造とリサイクルの推進

平成20年度に引き続き、北宮ノ協公園と（仮称）芝久保町三丁目公園の整備に取り組みます。東大農場については、平成20年4月に締結した覚書を基本に、まちづくり計画の策定や西東京都市計画道路3・4・9号線の整備、地域連携方策の具体化について、東京大学との協議を進めます。



市内公園などに花植えを行う「花いっぱい運動」

また、「花いっぱい運動」「西東京オープンガーデン」など、市内のNPOと協働して取り組んできた花とみどりのまちづくりを継続するとともに、まちづくり整備基金のあり方を検討する中で、みどりの基金の創設に向けて努力します。

一方、地球温暖化防止への取組としては、地球温暖化対策地域推進計画を策定し、省エネ機器やエコアクション21などの環境マネジメントシステムの普及を進めます。その取組として、新たに地球温暖化防止助成制度を創設し、地域での地球温暖化防止の取組や、再生可能エネルギー活用を支援します。

ごみ・リサイクルの分野では、引き続き、ごみの減量やリサイクルに取り組むとともに、現在実施している市民アンケートの結果を踏まえた見直しを検討します。

## 子育て、障害者・高齢者福祉、地域医療の充実

すみよし保育園の建替とともに、（仮称）ひばりが丘団地内保育園の整備に着手し、待機児ゼロの実現に向けて取り組むとともに、中学・高校生年代の居場所となる特化型児童館として、ひばりが丘児童館、下保谷児童館の整備工事を進めます。



笑顔あふれる園生活

また、妊産婦健康診査の受診回数について、これまでの5回から14回まで公費負担の範囲を拡大するとともに、義務教育就学児医療助成制度について利用者の自己負担軽減が図られるよう、条例改正の手続きを進めます。

福祉分野では、（仮称）地域福祉コーディネーターの計画的配置の実現に向けて検討するとともに、（仮称）障害者福祉総合センターの建築工事に着手します。また、認知症高齢者グループホーム等の地域密着型サービス等の拠点施設整備を進めるとともに、地域の高齢者の活動拠点として、下保谷福祉会館の整備工事に着手します。

一方、市民の皆さん1人ひとりが健康で長生きできるよう取り組むことは、高齢社会を迎えた今日、まちづくりの重要なコンセプトです。マニフェストでは「健康都市宣言」を掲げましたが、協議検討機関を立ち上げます。

健康診査・予防接種事業では、新たに原則75歳以上対象の肺炎球菌ワクチンの予防接種を実施するとともに、成人歯科健康診査では、45歳の節目の方に受診勧奨を行い、充実を図ります。

## 教育・スポーツ・文化・芸術活動の充実

親子調理方式による中学校給食導入については、条件の整った3組の小中学校について、施設改修の実施設計や準備委員会での詳細な検討を進めます。また、保谷第一小学校での校庭の芝生化や、新たに小学校5校、中学校1校での緑のカーテン事業など、環境教育の充実に努めるとともに、保谷第一小学校の情緒通級学級の拡充と田無第二中学校での通級学級の開設に着手します。



住吉小学校で行われた「緑のカーテン」

小中学校の大規模改修については、老朽化が目立つ中原小学校、ひばりが丘中学校について、建替を含めた検討に向けて、校舎等の老朽の度合いを調査します。

（仮称）子どもの権利に関する条例については引き続き庁内での検討作業を進め、条例案の上程を目指したいと考えています。

さらに、生涯学習環境の充実に向け、スポーツ・文化・芸術行政について教育委員会と市長部局との連携のもと市の組織のあり方を検証し、平成21年度中に組織改正を実施したいと考えています。

## 市民活動支援、商工業、農業振興の充実

市民協働推進センターや地域活動情報ステーションの運営を基軸に、NPO、市民活動団体等との協働によるまちづくりを目指します。



3月にオープンした「市民協働推進センター」

市内農産物のキャラクターである「めぐみちゃん」をPR活動に積極的に活用するなど、重点プロジェクトの一つである「西東京ブランド発進プロジェクト」を積極的に支援し、「人の集まる魅力あるまち西東京」の実現に繋げてまいりたいと考えています。

産・学・公の連携として、武蔵野大学との基本協定に基づく取り組み、早稲田大学と連携した「理科算数大好き実験教室」、東大農場を活用した食育事業といった共同事業に引き続き取り組みます。また、食育推進計画に基づき既存の事務事業に取り組むとともに、市民の皆さんが生産の喜びと農業への理解を深める貴重な体験の場である「食とはたけの学校」を継続して実施します。

マニフェストに掲げた「公契約条例の制定」に向けても、引き続き検討を進めます。

## 情報公開・説明責任・市民参加の充実、行財政改革の推進

リニューアルから4年目を迎えるホームページは、利用者が選んだ分野での更新情報を自動配信するRSS配信機能を追加するなど、より一層の充実を図ります。



リニューアルから4年目を迎えるホームページ

行財政改革の取組については、第3次行財政改革大綱の策定に取り組むとともに、行政評価制度について、施策評価を中心とした制度に再構築します。

平成21年度は、市政に大きな2つの役割が課せられた大変重要な年であると認識しています。一つは、後期基本計画に基づく事業を、新市建設計画の終了を視野に着実に実施すること。もう一つは、景気・雇用情勢が深刻化する社会情勢の中、地域経済を下支えするために、地方公共団体が取り組めることに積極的にチャレンジすることです。皆さんと力をあわせて、市政のさらなる発展に向けて全力で取り組む覚悟ですので、ご指導、ご鞭撻を心からお願い申し上げます。